

## 刊行にあたって

佐賀県で開業しております、医療法人なりとみ歯科理事長 成富健剛と申します。

今回この企画にかかわらせていただく機会をいただき、心から感謝申し上げます。また、本書を手にとっていただいた読者の先生にも、心からお礼を申し上げます。

私が歯科医師になったのは昭和 63 年（1988 年）のことでした。

いまから 34 年前のことになります。また、なりとみ歯科を開業して 25 年目となります。この永きにわたる期間にいろいろな経験をさせていただきました。

勤務医のころは院長に叱られるくらいで済んだのですが、自分で開業するとなるともっと深刻な悩みに苛まれることも多くありました。

患者さんとのトラブルやクレームで夜も眠れないこともありました。患者さんに大声で怒鳴られたことも何回かあります。さらに、「訴えるぞ！」と凄まれたこともあります。いろいろ経験をさせていただきました。

自分自身のミスはもちろん、スタッフのミスへの対応、そしてインターネット上に悪評を書かれたこともありました。患者さんのご自宅にうかがってお詫びを申し上げたことも数回あります。その渦中にいるときには、地獄に近いものを見ているような気持ちだったことを思い出します。

もちろん、悪いことばかりではなく、全顎治療を終えて患者さんと手を取り合っ  
て喜びを分かち合えたうれしい思い出もたくさんあります。

よかったことも苦しかったことも、いま思い返せばすばらしい勉強の機会として、自身の学びとするチャンスだったのだと感じます。

机の上で勉強することよりも、必要に迫られて必死に対応したことのほうが自分自身の血となり肉となっていることを実感します。

本書に執筆されている先生方は、非常に経験豊富な方々です。

私と同様に、いや私以上にさまざまな経験を積まれており、私以上に学びを深められてきた方々です。

私が歯科医師になったころ、そして開業したころは、本書で示されているような経験談を見聞する機会はなかったように思います。苦しみながらも自分自身で出口を探してきたような気がします。おそらく、執筆された先生方も同じだった

と思います。

本書を手にした若い先生方は本当にラッキーだと思います。困難に対峙したときの心構えや対応法など、生きた知識が本書にはふんだんに書かれています。

もちろん、本書を読むことですべての問題が解決するわけではありません。しかし、ここで得た情報をもとに、自分で考えることができるようになると思います。たとえるならば、山の麓から頂上を目指すのではなく、3合目、5合目、あるいは7合目から頂上を目指せるということです。

読者の先生方が本書を活用されて、直面するさまざまな出来事の解決の糸口としていただけられることを心から祈念しております。

2022年12月

編集委員 成富健剛